

商業音楽科昼間 I 部 シラバス

科目名	音楽理論(ミュージックセオリー(1))	担当教員名	小林 延江	
時間数	60	必修・選択	配当年次	1年次
曜日・時限		必修	教室	
授業の到達目標	楽譜に書かれた音やリズム・記号の意味について理解し、楽譜の基礎を学んでいくことで正確に楽譜を読み取る力を身につけていくことを目標とする。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する教科書、補助プリント、楽譜と音源を使い、実際に楽譜の中でどのように書かれ、使われているのかも紹介しながら講義し、ワークブックを用いて繰り返し問題を解きながら読譜力をつけていきます。			
【実務経験】2009年より大阪スクールオブミュージック専門学校で勤務。その他、宝塚エジュケーションクラブ、第一楽器(株)等の音楽教室でピアノ講師として後進の指導にもあたっている。				
回数	授業形態	内容		
1	講義	ファンデーションカリキュラムの説明・LMの説明・楽譜を時代ごとに追っていき、古代から現代への楽譜の移り変わりを知る		
2	講義	鍵盤と音名的一致・楽器ごとの音域を知る		
3	講義	音符・休符の表し方、連符		
4	講義	拍子記号・小節線について、拍子(単純拍子は詳しく、複合・混合拍子は紹介のみ)、タイ・シンコペーション		
5	講義	反復記号を学び、音源を使用して楽譜を追えるようにする		
6	講義	楽譜と音源を使用し、前半の総復習		
7	講義	確認テスト		
8	講義	メジャースケールの仕組み・#系のメジャースケールのみ		
9	講義	5度圏を用い、調号を用いてスケールを書けるようにする・b系のメジャースケール		
10	講義	調号と臨時記号の違い・臨時記号の効力・正しい楽譜の書き方		
11	講義	速度記号、速度標語、強弱記号を学ぶ		
12	講義	楽譜と音源を使用し、後半の総復習		
13	講義	期末予備テスト		
14	講義	期末テスト		
15	講義	テスト返却、復習		
準備学習 時間外学習	授業で学んだことを吸収し正しい知識としてきっちり身につけ役立てていけるよう、毎授業時間内に行う小テストの見直し、教科書・ワークを使っての復習を日々行っていくこと。また積極的に楽譜を見る機会を増やしていくように。			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	出席回数、授業態度、筆記試験の総合評価		
教材	教科書	ゼロから始める音楽理論、ワークブック		
	参考書			
学生への メッセージ	楽譜は慣れです！楽譜に触れる機会をたくさん増やし、楽譜に書かれていることを正確に読み取れる力を身につけていけるよう日々の授業をコツコツ取り組んでいきましょう。			

商業音楽科昼間 I 部 シラバス

科目名	音楽理論(著作権)		担当教員名	内藤 菜穂子
時間数	30	必修・選択	配当年次	1年次
曜日・時限		必修	教室	803教室
授業の到達目標	著作権身近に捉え、今後関わってくる事例を自ら考えられるようにする。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する 演奏活動している教員が今までにあった著作権に関する問題や判例を紹介しながら講義を進める。			
【実務経験】2015年より合唱団の伴奏者				
回数	授業形態	内容		
1	講義	音楽著作権の必要性・知的所有権		
2	講義	音楽著作権法・著作権の権利		
3	講義	著作隣接権		
4	講義	著作権・著作隣接権の保護期間・再販制度・レンタル禁止期間		
5	講義	著作権の管理・JASRAC		
6	講義	著作権条約・著作権ができるまでの歴史・輸入権問題・テスト前復習		
7	講義	中間テスト		
8	講義	中間テスト返却・著作権利用形態(演奏権、複製権、貸与権)・著作権使用料の計算 /実際にJASRACへの申請用紙を確認する		
9	講義	インターネットと音楽		
10	講義	音楽出版社		
11	講義	音楽配信/Youtube・ファイル共有ソフト/Winny		
12	講義	プロダクション・専属作家制度と著作権・楽曲のプロモート体制		
13	講義	著作権侵害・著作権の制限・テスト前復習		
14	講義	期末テスト		
15	講義	期末テスト返却・DVD鑑賞		
準備学習 時間外学習	授業内配布プリントを失くさないよう、各自保管する。			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	出席率を重視。中間テスト・期末テストを実施。		
教材	教科書	音楽著作権(吉村 保 著)/(株)タマエンタープライズ		
	参考書			
学生への メッセージ	「著作権」と聞くと難しく思えてしまいますが、意外と身近にたくさん話題があります。どの ように対処していけば良いのか知っていて損しない知識をお伝えします!!!			

商業音楽科昼間 I 部 シラバス

科目名	音楽理論(音楽史)		担当教員名	安井 献
時間数	60	必修・選択	配当年次	1年次 前期
曜日・時限		必修	教室	9階スクリーニングルーム
授業の到達目標	<p>音楽への基礎理解として、年代ごとの音楽の歴史を理解できる。 アーティスト名、楽曲名と年代・時代背景を理解できる。 現代の音楽がどこに影響を受けているかを知ることができる。</p>			
授業の内容	<p>※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する映像を活用しながら講義を実施する。事前学習やレポート提出で理解度を確認する。</p>			
【実務経験】	<p>サウンドアーティストとして、音楽室フォノテークを運営。CMソング、サウンドロゴなどを手掛ける。</p>			
回数	授業形態	内容		
1	講義	現在のミュージックシーンのルーツを辿る		
2	講義	リズム&ブルースとロックロール(1940年代～1950年代)		
3	講義	サーフ&ホットロッド(1950年代)		
4	講義	フォークとブリティッシュ・ビート、フォークロック(1960年代前半)		
5	講義	サイケデリックロックとアートロック(1960年代後半)		
6	講義	発展の時代(1960年代～1970年代)		
7	講義	サザンロックとウェストコースト(1970年代)		
8	講義	パンク～ニューウェイヴ(1970年代後半～1980年代後半)		
9	講義	エレクトロニック・ポップとテクノポップ		
10	講義	クラブ・ミュージックの隆盛(1990年代～2000年代)		
11	講義	オルタナティブ・ミュージックの時代(1990年代～2000年代)		
12	講義	ロック・ミュージックの新たな地平(2000年代)		
13	講義	現在のアーティスト(2010年代)		
14	講義	筆記試験・振り返り		
15	講義	最先端のサウンド、次世代のサウンド		
準備学習 時間外学習	Youtubeなどを活用して復習をしましょう			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	筆記試験		
教材	教科書			
	参考書			
学生への メッセージ	皆さんが好きで聞いている音楽のルーツや時代背景を知ると、もっともっと興味が出てくると思います！			

商業音楽科昼間 I 部 シラバス

科目名	音楽トレーニング(イヤートレーニング1)		担当教員名	小林 延江
時間数	60	必修・選択	配当年次	1年次
曜日・時限		必修	教室	
授業の到達目標	<p>《リズム》4分の3拍子・4分の4拍子で、4分音符、8分音符、16分音符、4分休符、8分休符の混ざったリズムを聴き取れるように。</p> <p>《メロディー》C～Gまで(跳躍進行あり)を正確に聴き取り楽譜に書き表せるように。</p> <p>《音程》1～8度までの音程を知る。</p> <p>《コード》メジャーコードとマイナーコードを聴き分ける。</p>			
授業の内容	<p>※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する</p> <p>キーボードで弾く音を聴き取り、リズムを感じ、それを表現するトレーニングを行っていく授業です。音感・リズム感・感性を鍛えていくと共に、音を集中して聴く力(集中力)、聴こえてきた音を正確に楽譜に表す力を身につけていきます。</p>			
【実務経験】	2009年より大阪スクールオブミュージック専門学校で勤務。その他、宝塚エジュケーションクラブ、第一楽器(株)等の音楽教室でピアノ講師として後進の指導にもあたっている。			
回数	授業形態	内容		
1	講義	ファンデーション科目・ETの説明/音の歴史について、音楽について、モールズ信号、効果音、周波数(教科書第1章～2章の内容)		
2	講義	4分音符4分休符導入 / リズム打ちを使つての書き取り/線紙を使つて音の高低判定(C～E・2度進行)		
3	講義	線紙を使つての書き取り/3線紙を使つて音の高低判定(C～E・3度の順次進行)		
4	講義	8分音符導入 / 5線を使つてC～E までの書き取り / 全音・半音と度数のみ		
5	講義	休符の多い書き取り問題 / 1・2・3・8度のみ		
6	講義	16分音符の導入 / 復習・暗記問題/1・2・3・8度のみ変化記号(#・b)が付いた場合		
7	講義	復習・確認週		
8	講義	C～E で跳躍進行/1～5と8度(4度、5度は#, bなし) トライトーン		
9	講義	8分休符+8分音符の導入 / C～Fまで(順次進行)/1～5と8度(4度、5度#, bあり)トライトーン		
10	講義	8分音符+16分音符リズムの導入 / C～Gまで(順次進行)/1～6と8度		
11	講義	C～Gまで(跳躍進行)/1～8度		
12	講義	1～8度 音程まとめ/Major, Minorの聞き分け/総復習		
13	講義	テスト対策週(まとめ)		
14	講義	テスト		
15	講義	テスト返却・復習		
準備学習 時間外学習	授業で学んだことを吸収し正確な音感を身につけ役立てていけるよう、リズム叩きや正しい音程でメロディーを歌う練習、音程の復習を忘れず、日々音に触れていくよう努力しよう。			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	出席回数、授業態度、筆記試験の総合評価		
教材	教科書	イヤートレーニング		
	参考書			
学生への メッセージ	週1回の授業を大切に！こつこつと積み重ねていくことで少しずつ耳は鍛えられていきます。継続して授業に出席することを定着させ、正確な音感・リズム感を身につけていきましょう。			

商業音楽科昼間 I 部 シラバス

科目名	音楽トレーニング(キャリア教育)	担当教員名	江川 嘉兵
時間数	30	必修・選択	配当年次
曜日・時限			教室
授業の到達目標	就職活動に必要な心構え、知識の習得。各コースの業界、会社の情報を収集し各自の進路決定の参考にする。		
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する就職に向けてプリントなどでワーク。これまでの就職活動状況などを伝え講義を行う。		
【実務経験】	就職活動を通してブレイン株式会社へ就職。経営企画部で5年勤務する。		
回数	授業形態	内容	
1	講義	就職講座(求人情報の見方) スケジュール及びインフォメーション	
2	講義	就職講座(求人情報の見方) スケジュール及びインフォメーション	
3	講義	就職講座(企業研究・エントリーシートについて) スケジュール及びインフォメーション	
4	講義	就職講座(企業研究・エントリーシートについて) スケジュール及びインフォメーション	
5	講義	就職講座(好感を持たれる話し方・聞き方)スケジュール及びインフォメーション	
6	講義	就職講座(好感を持たれる話し方・聞き方)スケジュール及びインフォメーション	
7	講義	就職講座(リクルートスーツ、身だしなみについて) スケジュール及びインフォメーション	
8	講義	就職講座(リクルートスーツ、身だしなみについて) スケジュール及びインフォメーション	
9	講義	就職講座(履歴書学歴含め記入について)授業アンケート/スケジュール及びインフォメーション	
10	講義	就職講座(履歴書学歴含め記入について)授業アンケート/スケジュール及びインフォメーション	
11	講義	就職講座(写真撮影に向けてマナー講座) スケジュール及びインフォメーション	
12	講義	就職講座(写真撮影に向けてマナー講座) スケジュール及びインフォメーション	
13	講義	就職講座(履歴書志望動機・自己PR・エントリー作成)スケジュール及びインフォメーション	
14	講義	就職講座(履歴書志望動機・自己PR・エントリー作成)スケジュール及びインフォメーション	
15	講義	就職講座(履歴書志望動機・自己PR・エントリー作成)スケジュール及びインフォメーション	
準備学習 時間外学習	課題に対して復習をする。ノートをしっかりとる。		
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	課題30%。出席率70%	
教材	教科書	iPad	
	参考書		
学生への メッセージ	早期就職の為に早めに行動できるように準備をしていきましょう。		

商業音楽科昼間 I 部 シラバス

科目名	レコーディング実習(PAベーシック1)	担当教員名	井出 賢吾
時間数	120	必修・選択	配当年次
曜日・時限			教室
授業の到達目標	PA エンジニアとしての基礎 音響信号の流れを理解し、各種機材のセッティング、電源の重要性、安全性の確保ができる。現代PAシステムの理解と興味を持たせる。		
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載するPAエンジニアになるために必要な知識やテクニックを実習を通じて学ぶ。		
【実務経験】	OSM卒業生。有限会社 津川プロ代表として、イベント・コンサートなどを手掛ける。		
回数	授業形態	内容	
1	演習	PA基礎 音とは PAエンジニアとしての心構え/機材について	
2	演習	PA基礎 音が出るまでのセッティング1/機材の名称 in-outまで	
3	演習	PA基礎 音が出るまでのセッティング2/プロのエンジニアの意味	
4	演習	PA基礎 音が出るまでのセッティング3/良い音とは？追求方法について	
5	演習	マイク スタンド スピーカーについて	
6	演習	音の伝送方式を理解する 1 アナログ回路のメリット デメリット	
7	演習	音の伝送方式を理解する 2 デジタル機器へのアプローチ方法	
8	演習	音の伝送方式を理解する 3 デジタルオーディオネットワークとは	
9	演習	デジタルオーディオネットワークDante	
10	演習	アルファ systemを知る/アンプリモート プロセッシングなど	
11	演習	アルファ systemを知る/アンプリモート プロセッシングなど	
12	演習	m7clを操作する為に必要な知識など	
13	演習	m7clを操作する為に必要な知識など	
14	演習	実技テストへ向けて	
15	演習	実技テスト・振り返り	
準備学習 時間外学習	「PA入門 改訂版」「音響映像設備マニュアル 2019年改訂版」を活用して予習復習しましょう		
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技試験100%。	
教材	教科書	ipad	
	参考書		
学生への メッセージ			

商業音楽科昼間 I 部 シラバス

科目名	PA実習(PAファンダメンタル)	担当教員名	伊東 次郎
時間数	120	必修	配当年次
曜日・時限		教室	9F Shooting Stage
授業の到達目標	音響の基礎知識を中心にPA機材の正しい操作、結線及びセッティングを習得する。		
授業の内容	講義を中心としながらも 実際に機材を使用して より知識、操作方法等が身に付くよう行う。		
【実務経験】	アスカサウンド代表として関西のイベント、コンサートを手掛ける。		
回数	授業形態	内容	
1	演習	PAとは(PAの種類、役割、仕事内容等)	
2	演習	音とは何か(音速、音の三要素)	
3	演習	ケーブルについて(コネクタの種類、バランス・アンバランス)	
4	演習	マイクロフォンについて(構造、性質)	
5	演習	ミキシング・コンソールについて I (ブロックダイアグラムや操作)	
6	演習	ミキシング・コンソールについて II (ブロックダイアグラムや操作)	
7	演習	パワーアンプについて(入力、出力、消費電力等)	
8	演習	スピーカーについて(構造、性質、エンクロージャー)	
9	演習	電気音響の基礎(アンプとスピーカーの接続)	
10	演習	電気音響の基礎(アンプとスピーカーの接続)	
11	演習	イコライザーについて(性質と操作方法)	
12	演習	イコライザーについて(性質と操作方法)	
13	演習	エフェクターについて I (リバーブ、ディレイ)	
14	演習	エフェクターについて II (コンプ、ゲート)	
15	演習	音響システムを使った実演	
準備学習 時間外学習	「PA入門 改訂版」「音響映像設備マニュアル 2019年改訂版」を活用して予習復習しましょう		
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	2) 筆記試験 100%	
教材	教科書		
	参考書		
学生への メッセージ	音響をやっていく上で必要な基本的知識を学ぶ授業です。講義が中心ですが しっかり身に付けて下さい。		

商業音楽科昼間 I 部 シラバス

科目名	番組企画制作(舞台機構1)	担当教員名	坂本 充勇
時間数	60	必修・選択	配当年次
曜日・時限		選択	教室
授業の到達目標	舞台に必要な基礎知識並びに安全作業及び職業環境に対する意識向上を身に付ける		
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する		
舞台機構・舞台図面・舞台用語の基礎知識。また公演組織の役割。さらに現場での作業に必要な初歩の安全衛生について。			
【実務経験】株式会社スタッフユニオンにて勤務。舞台監督、美術に従事。 2018年より株式会社ザ・シンフォニーホール ステージマネージャーとして勤務。			
回数	授業形態	内容	
1	演習	前期授業概要説明・到達目標と目的の説明など	
2	演習	舞台機構 現代の舞台の名称と役割	
3	演習	尺貫法とヤード・ポンド法 / 図面の読み方	
4	演習	舞台機構 古典(能)舞台の名称と役割 (歴史的背景を踏まえて 五行思想など)	
5	演習	舞台機構 古典(能)舞台の名称と役割 (歴史的背景を踏まえて 五行思想など)	
6	演習	舞台用語解説	
7	演習	舞台用語解説	
8	演習	舞台用語解説	
9	演習	舞台用語解説	
10	演習	舞台用語解説	
11	演習	舞台用語解説	
12	演習	安全衛生教育①(舞台に必要な基礎知識の確認)	
13	演習	安全衛生教育②(舞台に必要な基礎知識の確認)	
14	演習	安全衛生教育①(安全作業及び職業環境に対する意識の確認)	
15	演習	安全衛生教育②(安全作業及び職業環境に対する意識の確認)	
準備学習 時間外学習	たくさんの作品を観ましょう。		
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	筆記試験50% 出席率50%	
教材	教科書	自作編集の冊子	
	参考書	特に無し	
学生への メッセージ	舞台で使用される言葉・機構・物の歴史的背景を学び理解を深めましょう。		

商業音楽科昼間 I 部 シラバス

科目名	番組企画制作(舞台機構2)	担当教員名	坂本 充勇	
時間数	60	必修・ 選択	配当年次	1 年次 後期
曜日・時限			教室	703号教室
授業の到達目標	舞台に必要な基礎知識並びに安全作業及び職業環境に対する意識向上を身に付ける			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する			
舞台機構・舞台図面・舞台用語の基礎知識。また公演組織の役割。さらに現場での作業に必要な初歩の安全衛生について。				
【実務経験】株式会社スタッフユニオンにて勤務。舞台監督、美術に従事。 2018年より株式会社ザ・シンフォニーホール ステージマネージャーとして勤務。				
回数	授業形態	内容		
1	演習	前期の振り返りと後期の目標		
2	演習	重要無形文化財を知る		
3	演習	重要無形文化財を知る		
4	演習	重要無形文化財を知る		
5	演習	舞台化される古典文学に興味を持つ①		
6	演習	舞台化の実際を観る		
7	演習	舞台化の実際を観る		
8	演習	舞台化の実際を観る		
9	演習	舞台化される古典文学に興味を持つ②		
10	演習	舞台化の実際を観る		
11	演習	舞台化の実際を観る		
12	演習	舞台化の実際を観る		
13	演習	舞台化される古典文学に興味を持つ③		
14	演習	舞台化の実際を観る		
15	演習	舞台化の実際を観る		
準備学習 時間外学習	たくさんの作品を観ましょう。			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	筆記試験50% 出席率50%		
教材	教科書	自作編集の冊子		
	参考書	特に無し		
学生への メッセージ	舞台で使用される言葉・機構・物の歴史的背景を学び理解を深めましょう。			

商業音楽科昼間 I 部 シラバス

科目名	映像企画制作(舞台美術デザイン1)		担当教員名	あまのしげ
時間数	60	必須	配当年次	1年次 前期
曜日・時限			教室	1階 舞台美術工房
授業の到達目標	舞台美術デザインの基礎的表現力を身につけることができる。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する 1982年の活動開始より、44回にわたり個展を開催。岸和田市文化振興審議会委員、岸和田市景観審議会委員、岸和田文化事業協会理事等を歴任。大阪芸術大学、四国大学で非常勤講師を勤めた。市民講座「絵画のひみつ」を岸和田市、和泉市、豊中市、堺市などで行った。現在、毎日文化センター講師、大阪芸術大学通信教育部講師。 舞台美術デザインの基礎的演習を行う。デザイン表現に於いて、創造力、表現力と何事かへの関心度が求められる。演習課題から基礎的表現力をつけ、さらには自主的に表現することの喜びを感じ取ってもらいたい。			
回数	授業形態	内容		
1	演習	授業のあらましと、評価の方法		
2	演習	紙による正六面体の制作。紙について、用具の使用法		
3	演習	デッサン。鉛筆について。		
4	演習	デッサン。明暗法		
5	演習	三原色による色彩構成		
6	演習	三原色による色彩構成		
7	演習	段ボール・クラフト(モデルの動物をつくる)		
8	演習	段ボール・クラフト(モデルの動物をつくる)		
9	演習	段ボール・クラフト(モデルの動物をつくる)		
10	演習	段ボールクラフト(オリジナルの動物を制作する)		
11	演習	段ボールクラフト(オリジナルの動物を制作する)		
12	演習	段ボールクラフト(オリジナルの動物を制作する)		
13	演習	お菓子の箱の模写		
14	演習	お菓子の箱の模写		
15	演習	お菓子の箱の模写		
準備学習 時間外学習	道具の取り扱い、メンテナンスを丁寧にする			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	課題100%		
教材	教科書			
	参考書			
学生への メッセージ	もの、他者、自分へ興味を持つこと。			

商業音楽科昼間 I 部 シラバス

科目名	映像企画制作(舞台美術デザイン2)		担当教員名	あまのしげ
時間数	60	必須	配当年次	1年次 後期
曜日・時限			教室	1階 舞台美術工房
授業の到達目標	舞台美術デザインの基礎的表現力を身につけることができる。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する 1982年の活動開始より、44回にわたり個展を開催。岸和田市文化振興審議会委員、岸和田市景観審議会委員、岸和田文化事業協会理事等を歴任。大阪芸術大学、四国大学で非常勤講師を勤めた。市民講座「絵画のひみつ」を岸和田市、和泉市、豊中市、堺市などで行った。現在、毎日文化センター講師、大阪芸術大学通信教育部講師。 舞台美術デザインの基礎的演習を行う。デザイン表現に於いて、創造力、表現力と何事かへの関心度が求められる。演習課題から基礎的表現力をつけ、さらには自主的に表現することの喜びを感じ取ってもらいたい。			
回数	授業形態	内容		
1	演習	授業のあらましと、評価の方法		
2	演習	ランプシェード 立体と光の構成		
3	演習	ランプシェード 立体と光の構成		
4	演習	色相環 色彩の多様な変化と想像		
5	演習	色相環 色彩の多様な変化と想像		
6	演習	物語の背景 物語を読み、その構成を立体表現		
7	演習	物語の背景 物語を読み、その構成を立体表現		
8	演習	物語の背景 物語を読み、その構成を立体表現		
9	演習	物語の背景 物語を読み、その構成を立体表現		
10	演習	オブジェ 立体の表現と構成		
11	演習	オブジェ 立体の表現と構成		
12	演習	オブジェ 立体の表現と構成		
13	演習	ポートフォリオ 作品の整理とデータ化		
14	演習	ポートフォリオ 作品の整理とデータ化		
15	演習	ポートフォリオ 作品の整理とデータ化		
準備学習 時間外学習	道具の取り扱い、メンテナンスを丁寧にする			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	課題100%		
教材	教科書			
	参考書			
学生への メッセージ	もの、他者、自分へ興味を持つこと。			

商業音楽科昼間 I 部 シラバス

科目名	プロダクション実務(TACプロジェクト)	担当教員名	堤福男・松下俊樹	
時間数	60	必修・選択	配当年次	1年次 前期
曜日・時限		選択	教室	707
授業の到達目標	産学連携で企業様とイベントなどに取り組み、コミュニケーション能力や、外部の人との関係性を構築させることで、学生の目標である音楽業界への就職に一人でも多く繋げることを目標とする。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する			
	【1コマ目】産学連携でお世話になっているメディアプルポさんのイレギュラーで入ってくるテレビ番組収録や公開ライブの現場に参加するための講義。【2コマ目】後期の目標であるイベント企画(7月29日)の課題に取り組みます。			
	【実務経験】マネージャー業をはじめ、イベントのプロモーション、メディア制作等にも携わる。現在はそれらの業務に加え、後進の育成にもあたる。			
回数	授業形態	内容		
1	演習	TACプロジェクトの産学連携の授業内容に関して		
2	演習	スケジュール管理や報告のまとめ方についての説明、レクチャー		
3	演習	イベントの企画(7月29日)立案のレクチャー		
4	演習	イベントに出演するアーティストを選定するためのオーディションをレクチャー		
5	演習	イベントプロモーションやSNSの活用法を学ぶためのレクチャー		
6	演習	フライヤーの制作、デザインのためのレクチャー		
7	演習	制作したフライヤーなど、販促物の配布を行う宣伝活動を実施		
8	演習	イベントに必要な資料(タイムテーブル、セット図など)の作成をレクチャー		
9	演習	樋口宗孝がん研究基金代表(柳澤様)特別講義		
10	演習	マネジメントについての知識を学ぶためのレクチャー		
11	演習	7月29日のイベントの準備を実施		
12	演習	後期のイベントの企画(10月25日)立案のレクチャー		
13	演習	9月6日のテレビ収録現場の準備やレクチャー		
14	演習	イベントに出演するアーティストを選定するためのオーディションを実施		
15	演習	イベント(10月25日)のプロモーションの実施		
準備学習 時間外学習	イレギュラーで入ってくるテレビ収録やイベント現場対応、ならびに企業様への対応に向けた準備を日々おこなっていく			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	1.実技100%		
教材	教科書	適時、必要資料を配布します。		
	参考書	適時、必要資料を配布します。		
学生への メッセージ	学外の企業様や実際に現場で活躍されている方々とコミュニケーションを取る場を設けますので、関係性を自分自身でも構築していきましょう。皆さんの将来のために繋がる学びの場としますので、前向きに取り組んでいきましょう。			

商業音楽科昼間 I 部 シラバス

科目名	プロダクション実務(TACプロジェクト2)	担当教員名	堤福男・松下俊樹	
時間数	60	必修・選択	配当年次	1年次 後期
曜日・時限		選択	教室	707
授業の到達目標	産学連携で企業様とイベントなどに取り組み、コミュニケーション能力や、外部の人との関係性を構築させることで、学生の目標である音楽業界への就職に一人でも多く繋げることを目標とする。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する 【1コマ目】産学連携でお世話になっているメディアプルポさんのイレギュラーで入ってくるテレビ番組収録や公開ライブの現場に参加するための講義.及び各イベント企画 【2コマ目】後期の目標であるイベント企画.及びマネジメントの課題に取り組みます。			
	【実務経験】マネージャー業をはじめ、イベントのプロモーション、メディア制作等にも携わる。現在はそれらの業務に加え、後進の育成にもあたる。			
回数	授業形態	内容		
1	演習	制作したフライヤーなど、販促物の配布を行う宣伝活動を実施		
2	演習	イベントに必要な資料(タイムテーブル、セット図など)の作成をレクチャー		
3	演習	10月25日のイベントの準備を実施		
4	演習	10月25日のイベントの運営		
5	演習	10月25日のイベントの振り返り・総括		
6	演習	10月25日のイベントに関する学生によるプレゼンテーション		
7	演習	テレビ収録現場の準備やレクチャー		
8	演習	テレビ収録現場でのワークショップ		
9	演習	テレビ収録現場に関する振り返り		
10	演習	マネジメントについての知識を学ぶためのレクチャー		
11	演習	事務所所属アーティストのマネジメント実践(レコーディング)		
12	演習	事務所所属アーティストのマネジメント実践(ライブ準備・制作)		
13	演習	事務所所属アーティストのマネジメント実践(ライブ運営)		
14	演習	各マネジメントチームによる報告会		
15	演習	総括		
準備学習 時間外学習	イレギュラーで入ってくるテレビ収録やイベント現場対応、ならびに企業様への対応に向けた準備を日々おこなっていく			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	1.実技100%		
教材	教科書	適時、必要資料を配布します。		
	参考書	適時、必要資料を配布します。		
学生への メッセージ	学外の企業様や実際に現場で活躍されている方々とコミュニケーションを取る場を設けますので、関係性を自分自身でも構築していきましょう。また構築した関係を活かし、主体的に授業に取り組んでください。皆さんの将来のために繋がる学びの場としますので、前向きに取り組んでいきましょう。また、1年間の集大成にもなりますので今まで学んだことを存分に発揮してください。			

商業音楽科昼間 I 部 シラバス

科目名	OA実習(デザイン制作1)	担当教員名	澤本美代子	
時間数	30	必修・選択	配当年次	1年次 前期
曜日・時限			教室	601教室
授業の到達目標	<p>PCの各種アプリケーションの操作を学び、デジタルデータを目的に合わせて活用できるようになる。 課題制作を通じて、仕事のワークフローを理解する。</p>			
授業の内容	<p>※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する教科書を用いた講義とPC・iPad等マルチデバイスを使っての各種アプリケーションの使い方を学習する。素材の入手、加工を含め、データの扱い方を学び、各種制作物の演習で実践方法を学ぶ。</p>			
【実務経験】	<p>出版社の制作部門でディレクションを担当。アナログから完全デジタルデータ入稿への移行を通じ、各種アプリケーションを習得。</p>			
日程	授業形態	内容		
1週	演習	授業概要、601教室の使い方、Macの基本操作、グラフィックアプリ(ドロー系とペイント系)の知識		
2週	演習	各種デバイスのデータのPCへの転送方法(ギガファイル便の活用)、ファイル形式		
3週	演習	イラストレーターの基本操作(画像配置・文字入力)		
4週	演習	フォトショップの基本操作(レイヤー・解像度)、写真のリサイズ		
5週	演習	ハガキサイズのデザイン(写真配置・クリッピングマスク・文字マスク)		
6週	演習	チケット、配置図の作り方(選択ツールとダイレクト選択ツール)		
7週	演習	色の学習(カラーモード)、グラデーション		
8週	演習	写真画像の色調補正の基礎		
9週	演習	フリー素材の活用(素材サイトの使い方、加工)		
10週	演習	画像加工をメインとしたフライヤーの作成		
11週	演習	画像加工をメインとしたフライヤーの作成		
12週	演習	画像加工をメインとしたフライヤーの作成		
13週	演習	前期試験(課題制作)		
14週	演習	前期試験(課題制作)		
15週	演習	フィードバック、前期のまとめ解説		
準備学習 時間外学習	<p>各種画像データの準備。 課題制作用のデータ、各種プロジェクトの制作物で積極的に実践・復習する。</p>			
成績評価	<p>1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)</p>	課題100%		
教材	教科書	Illustrator CS6、Photoshop CS6(VISTA ARTS発行)		
	参考書			
学生への メッセージ	<p>PC、タブレット、スマートフォンとマルチデバイスを活用出来るスキルは大きな強みになります。使用方法だけでなく、デジタルデータの扱い方、ワークフローを通じて仕事の流れ、役割も理解していきましょう。</p>			

商業音楽科昼間 I 部 シラバス

科目名	OA実習(デザイン制作2)	担当教員名	澤本美代子	
時間数	30	必修・選択	配当年次	1年次 後期
曜日・時限			教室	601教室
授業の到達目標	PCの各種アプリケーションの操作を学び、デジタルデータを目的に合わせて活用できるようになる。課題制作を通じて、仕事のワークフローを理解する。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する教科書を用いた講義とPC・iPad等マルチデバイスを使っての各種アプリケーションの使い方を学習する。素材の入手、加工を含め、データの扱い方を学び、各種制作物の演習で実践方法を学ぶ。			
【実務経験】	出版社の制作部門でディレクションを担当。アナログから完全デジタルデータ入稿への移行を通じ、各種アプリケーションを習得。			
日程	授業形態	内容		
1週	演習	イラストレーターの応用操作(画像配置・文字入力)		
2週	演習	イラストレーターの応用操作(画像配置・文字入力)		
3週	演習	イラストレーターの応用操作(画像配置・文字入力)		
4週	演習	フォトショップの基本操作(レイヤー・解像度)、写真のリサイズ		
5週	演習	ハガキサイズのデザイン(写真配置・クリッピングマスク・文字マスク)		
6週	演習	チケット、配置図の作り方(選択ツールとダイレクト選択ツール)		
7週	演習	色の学習(カラーモード)、グラデーション		
8週	演習	写真画像の色調補正の基礎		
9週	演習	フリー素材の活用(素材サイトの使い方、加工)		
10週	演習	フリー素材の活用(素材サイトの使い方、加工)		
11週	演習	フリー素材の活用(素材サイトの使い方、加工)		
12週	演習	画像加工をメインとしたフライヤーの作成		
13週	演習	画像加工をメインとしたフライヤーの作成		
14週	演習	後期試験(課題制作)		
15週	演習	フィードバック、前期のまとめ解説		
準備学習 時間外学習	各種画像データの準備。 課題制作用のデータ、各種プロジェクトの制作物で積極的に実践・復習する。			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	課題100%		
教材	教科書	Illustrator CS6、Photoshop CS6(VISTA ARTS発行)		
	参考書			
学生への メッセージ	PC、タブレット、スマートフォンとマルチデバイスを活用出来るスキルは大きな強みになります。使用方法だけでなく、デジタルデータの扱い方、ワークフローを通じて仕事の流れ、役割も理解していきましょう。			

商業音楽科昼間 I 部 シラバス

科目名	英会話(英会話)	担当教員名	ジェフリー バーネット
時間数	60	必修・選択	配当年次
曜日・時限		必修	教室
授業の到達目標	様々な場面で出てくるトピックに関して、自信を持って話せるようになる。		
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する 日常生活の様々な場面で使える頻度の高いコミュニケーション英語を学ぶ。		
【実務経験】	2014年より高校や大学、また子供から大人まで幅広い世代への英会話講師の経験あり		
日程	授業形態	内容	
1週	講義	L. 1 授業計画の説明、プレテスト、初対面のあいさつ～お別れまでの会話ができる。	
2週	講義	L. 2 & 3 自己紹介、友人の紹介、パーソナルインフォメーションに関する一般的な質問に対する受け答えができる。	
3週	講義	L. 5 & 6 好き・嫌い等の好みについての会話ができる。	
4週	講義	L. 8 意見を尋ねる/意見を述べる。お誘いを受けた際の返答ができる。	
5週	講義	L. 11 & 12 人を褒める&褒められた際の会話表現。(衣服など)着ているものに関して述べる事が出来る。	
6週	講義	L. 7, 13, & 14 時間について表現する。日々の習慣について話す&質問できる。	
7週	講義	L. 19 & 20 道案内をする・場所を尋ねることが出来る。	
8週	講義	L. 21 & 23 数やお金の数え方・価格や頻度についての質問や受け答えができる。	
9週	講義	L. 28 料理の味や材料について&レストランでのオーダーができるようになる。	
10週	講義	L. 29 & 30 過去の出来事について話す&質問できる。	
11週	講義	L. 31 自分の体験について話す&それに対するリアクションや返答ができるようになる。	
12週	講義	L. 32 週末や未来の予定について話すことができる。	
13週	講義	総復習	
14週	講義	本試験	
15週	講義	試験返却、解説、ポストテスト	
準備学習 時間外学習	事前に教科書を読んでおきましょう。		
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	筆記試験50%、出席50%	
教材	教科書	Speak Now1	
	参考書		
学生への メッセージ	皆さんは既にたくさんの英語を知っています。英語を話せるように、一緒に頑張りましょう！		

商業音楽科昼間 I 部 シラバス

科目名	楽器メンテナンス(Vectorworks)		担当教員名	吉川 久子
時間数	60	必修・選択	配当年次	1年次 前期
曜日・時限		必修	教室	602教室
授業の到達目標	<p>基本的な図面から作成し、課題を定めて数回に分けて提出してもらいます。 CADを使用する利便性、使用する目的を考え、それに基づく操作方法を習得します。</p>			
授業の内容	<p>※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する講義では、初めてCADを使う方を対象に、基本的な製図の知識を覚え、業界で最も多く使用されているCAD(Vector Works)を使用した操作方法を習得した後、それぞれ分野別の図面を描くために効率的な方法を学習します。</p>			
【実務経験】株式会社スタッフユニオンにて舞台美術の製作に携わる				
回数	授業形態	内容		
1	演習	Vector Woksの概念、基本操作、2Dツール詳細		
2	演習	基本操作を使用した課題作成		
3	演習	Vector Woksの基本操作、2Dツール詳細		
4	演習	基本操作を使用した課題作成		
5	演習	Vector Woksの応用操作、2Dツール詳細		
6	演習	応用操作を使用した課題作成		
7	演習	製図基本について、2Dツール詳細		
8	演習	製図基本に則した課題作成		
9	演習	三面図について、2Dツール詳細		
10	演習	三面図の課題作成		
11	演習	三面図の課題作成		
12	演習	三面図の課題作成		
13	演習	基本、応用操作を使用した図面作成		
14	演習	基本、応用操作を使用した図面作成		
15	演習	基本、応用操作を使用した図面作成		
準備学習 時間外学習				
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	3) 課題 100%		
教材	教科書	Vector Woksではじめるインテリアデザイン		
	参考書	オリジナル教材		
学生への メッセージ	<p>扱う種類は違っても、図面を描く・読むことは必須となります。 1つでも多く得意な事を増やし、自信を持って図面を描いてみましょう。</p>			

商業音楽科昼間 I 部 シラバス

科目名	コンピュータミュージック(ミュージックビデオ制作I)		担当教員名	林 耐治
時間数	60	必修・選択	配当年次	1年次 前期
曜日・時限			教室	A503
授業の到達目標	<p>映像を制作していく上で、最低限必要とされる知識の習得。</p> <p>撮影、編集、CGの基礎的な技術の習得。</p> <p>映像作品を形成する、シーン構成、構図、色、カットニング、カメラワーク、被写体への演出などの意味を理解。</p>			
授業の内容	<p>※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する</p> <p>ドラマ、CM、イベントやコンサート動画、ドキュメンタリー、ライブ中継と豊富な経験をもとに映像制作のノウハウを多岐にわたって指導していきます。基本的には1コマ目を講義。2コマ目を演習の時間としていきます。講義では映像制作に必要な知識や考え方、演出方法などを教えます。演習は2種類。1つ目は、デフォルトとして毎回、課題を与え、ipadを利用して全員に30秒～1分程度の映像作品を制作してもらいます。もう一つは、スペシャルとして前期、後期各期に1作品、外部のスタジオなどを利用してPVを制作します。これは、学生全員で監督、プロデューサー、カメラ、編集などの役割を決め、1つの音楽作品を作る大掛かりな取り組みです。</p> <p>【実務経験】 ドラマ・CM、イベントやコンサート動画、ドキュメンタリー、ライブ中継など</p>			
回数	授業形態	内容		
1	演習	映像についての概要とimovieの使い方を指導。課題音楽をベースに簡単なPVを制作。		
2	演習	編集についての基礎(カットニングとモンタージュ)		
3	演習	撮影についての基礎1(構図)		
4	演習	撮影についての基礎2(カメラワーク)		
5	演習	絵コンテを描いて撮る①(対話シーン、単純な人物の動き)		
6	演習	絵コンテを描いて撮る②(複雑な人物の動き)		
7	演習	撮った映像を編集する。ADOBE PremiereとAfter Effects①		
8	演習	撮った映像を編集する。ADOBE PremiereとAfter Effects②		
9	演習	撮った映像を編集する。ADOBE PremiereとAfter Effects③		
10	演習	撮った映像を編集する。ADOBE PremiereとAfter Effects④		
11	演習	簡単なミュージックビデオ制作		
12	演習	簡単なミュージックビデオ制作		
13	演習	簡単なミュージックビデオ制作		
14	演習	簡単なミュージックビデオ制作		
15	演習	簡単なミュージックビデオ制作		
準備学習 時間外学習	撮影するPVの素材の確認と必要機材の準備と機能についてを調べる			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	1.授業に対する取り組み姿勢 50% 2.授業内で制作する作品および提出課題の出来 50%		
教材	教科書	講師より適時、プリントを配布		
	参考書	月刊誌 ビデオサロン (玄光社より毎月 発行)		
学生への メッセージ	<p>授業名は「ミュージックビデオ制作」ですが、MVには総合的な能力が求められます。よって、1年次前期の授業では、まず基本的な映像制作のノウハウを教えます。1年次の後期および2年次に本格的なMV制作に取り組んでいきます。</p> <p>教わる、学ぶ、自分でやってみる、人から批評される。ひたすら、この繰り返しです。映像業界への就職のためには授業以外の時間でも、自主制作に取り組むことが不可欠です。</p>			1

商業音楽科昼間 I 部 シラバス

科目名	コンピューターミュージック(ミュージックビデオ制作2)		担当教員名	林 耐治
時間数	60	必修・選択	配当年次	1年次 後期
曜日・時限		必修	教室	A503
授業の到達目標	<p>映像を制作していく上で、最低限必要とされる知識の習得。</p> <p>撮影、編集、CGの基礎的な技術の習得。</p> <p>映像作品を形成する、シーン構成、構図、色、カットニング、カメラワーク、被写体への演出などの意味を理解。</p>			
授業の内容	<p>※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する</p> <p>ドラマ、CM、イベントやコンサート動画、ドキュメンタリー、ライブ中継と豊富な経験をもとに映像制作のノウハウを多岐にわたって指導していきます。基本的には1コマ目を講義。2コマ目を演習の時間としていきます。講義では映像制作に必要な知識や考え方、演出方法などを教えます。演習は2種類。1つ目は、デフォルトとして毎回、課題を与え、ipadを利用して全員に30秒～1分程度の映像作品を制作してもらいます。もう一つは、スペシャルとして前期、後期各期に1作品、外部のスタジオなどを利用してPVを制作します。これは、学生全員で監督、プロデューサー、カメラ、編集などの役割を決め、1つの音楽作品を作る大掛かりな取り組みです。</p> <p>【実務経験】 ドラマ・CM、イベントやコンサート動画、ドキュメンタリー、ライブ中継など</p>			
回数	授業形態	内容		
1	演習	映像についての概要とimovieの使い方を指導。課題音楽をベースに簡単なPVを制作。		
2	演習	編集についての基礎(カットニングとモンタージュ)		
3	演習	撮影についての基礎1(構図)		
4	演習	撮影についての基礎2(カメラワーク)		
5	演習	絵コンテを描いて撮る①(対話シーン、単純な人物の動き)		
6	演習	絵コンテを描いて撮る②(複雑な人物の動き)		
7	演習	撮った映像を編集する。ADOBE PremiereとAfter Effects①		
8	演習	撮った映像を編集する。ADOBE PremiereとAfter Effects②		
9	演習	撮った映像を編集する。ADOBE PremiereとAfter Effects③		
10	演習	撮った映像を編集する。ADOBE PremiereとAfter Effects④		
11	演習	撮った映像を編集する。ADOBE PremiereとAfter Effects⑤		
12	演習	簡単なミュージックビデオ制作		
13	演習	簡単なミュージックビデオ制作		
14	演習	簡単なミュージックビデオ制作		
15	演習	簡単なミュージックビデオ制作		
準備学習 時間外学習	撮影するPVの素材の確認と必要機材の準備と機能についてを調べる			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	1.授業に対する取り組み姿勢 50% 2.授業内で制作する作品および提出課題の出来 50%		
教材	教科書	講師より適時、プリントを配布		
	参考書	月刊誌 ビデオサロン (玄光社より毎月 発行)		
学生への メッセージ	<p>授業名は「ミュージックビデオ制作」ですが、MVには総合的な能力が求められます。よって、1年次前期の授業では、まず基本的な映像制作のノウハウを教えます。1年次の後期および2年次に本格的なMV制作に取り組んでいきます。</p> <p>教わる、学ぶ、自分でやってみる、人から批評される。ひたすら、この繰り返しです。映像業界への就職のためには授業以外の時間でも、自主制作に取り組むことが不可欠です。</p>			

商業音楽科昼間 I 部 シラバス

科目名	ステージライティング(照明概論1)	担当教員名	徳永 好郎	
時間数	60	必修・選択	配当年次	1年次 前期
曜日・時限		必修	教室	805教室
授業の到達目標	舞台照明に必要な電気理論および、舞台照明設備を理解する。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する現場で即戦力となる為の舞台照明基礎知識・機材知識を身に付ける。			
講師プロフィール	昭和49年より音響業務に携わる。昭和54年、舞台・音響・照明の三業種の重要性を感じ大和ステージサービス設立。以来、市民会館の管理業務などに従事。昭和59年株式会社ディースタッフ設立。天王寺博のテクニカルディレクターを務める。現在はよしもとブロードエンターテイメント所属。			
回数	授業形態	内容		
1	演習	機材知識(構造・種類・用途について) / 器具の構造、取り扱いを理解する		
2	演習	電気知識(電圧・電流・抵抗の関係) / オームの法則などの計算式		
3	演習	機材知識(電気容量及び電流・抵抗) / 電気容量に対しての電流などの関係		
4	演習	機材知識(LEDについて) / 通常の照明器具とLED機器との違いを理解する		
5	演習	電気知識(電気容量・I) / 器具などでの容量について理解する		
6	演習	照明設備(フライダクトの構造・用途) / 複数の電気回路の構造		
7	演習	電気知識(電気容量・II) / I回路での容量に対して電流の関係		
8	演習	照明設備(フライダクトの回路取り) / 机上での負荷回路の結線		
9	演習	電気知識(許容電流について) / 電線(ケーブル)と電流値の関係		
10	演習	照明設備(ケーブル・コネクタ) / (ケーブル・コネクタ)と電流値の関係		
11	演習	電気知識(直流・単相交流・三相交流) / 照明用電源について・機器制御電源について		
12	演習	照明設備(フロント) / 舞台上での照明設備について		
13	演習	照明設備(シーリング) / 舞台上での照明設備について		
14	演習	電気知識(電源について) / 照明用電源について		
15	演習	電気知識(電源について) / 照明用電源について		
準備学習 時間外学習	授業ノートの見直し、該当箇所の教科書を読んでから出席			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	筆記試験(50%) 出席率(30%) 授業態度(20%)		
教材	教科書	舞台テレビジョン照明の知識編及び技能編		
	参考書	舞台・テレビジョン照明(基礎編)		
学生への メッセージ	舞台照明では知識が大切なので頑張りましょう!			

商業音楽科昼間 I 部 シラバス

科目名	ステージライティング(照明概論2)		担当教員名	徳永 好郎
時間数	60	必修・選択	配当年次	1年次 後期
曜日・時限		必修	教室	805教室
授業の到達目標	舞台照明に必要な電気理論および、舞台照明設備を理解する。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する現場で即戦力となる為の舞台照明基礎知識・機材知識を身に付ける。 講師プロフィール 昭和49年より音響業務に携わる。昭和54年、舞台・音響・照明の三業種の重要性を感じ大和ステージサービス設立。以来、市民会館の管理業務などに従事。昭和59年株式会社ディースタッフ設立。天王寺博のテクニカルディレクターを務める。現在はよしもとブロードエンターテイメント所属。			
回数	授業形態	内容		
1	演習	照明設備(ホリゾンライト・フロア)		
2	演習	電気知識(電源の種類・用途について)		
3	演習	照明設備(調光器及び調光の仕方)		
4	演習	電気知識(電源と調光器について)		
5	演習	照明設備(調光設備について)		
6	演習	電気知識(調光ユニットの電源)		
7	演習	照明設備(負荷選択機構について)		
8	演習	照明設備(調光操作卓について)		
9	演習	照明設備(仮設照明設備について)		
10	演習	電気知識(電気事故・トラブル)		
11	演習	調光制御回路(DMXラインについて)		
12	演習	電気知識(トラブルなどの原因・対処)		
13	演習	電気知識(トラブルなどの原因・対処)		
14	演習	照明安全作業(安全管理などについて)		
15	演習	照明安全作業(安全管理などについて)		
準備学習 時間外学習	授業ノートの見直し、該当箇所の教科書を読んでから出席			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	筆記試験(50%) 出席率(30%) 授業態度(20%)		
教材	教科書	舞台テレビジョン照明の知識編及び技能編		
	参考書	舞台・テレビジョン照明(基礎編)		
学生への メッセージ	舞台照明では知識が大切なので頑張りましょう！			

商業音楽科昼間 I 部 シラバス

科目名	楽器レッスン(F.キーボード)	担当教員名	中山 智義	
時間数	120	必修・選択	配当年次	1年次
曜日・時限		選択	教室	EN332
授業の到達目標	<p>弾き語りの演奏ができる。 弾き語りに必要なコードの展開、多様な音階を理解する。 弾き語りに必要な演奏力を養うための練習を行う。</p>			
授業の内容	<p>※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する 全体でのスケール練習。コード演習。ピアノ曲の練習等。</p>			
<p>【実務経験】大阪芸術大学在学中より、佐川満男、増田俊郎等のバックメンバーとして音楽活動を開始。OSM開校当初より、キーボード科講師として後進の育成にあたる。1990年以降には、音楽制作ユニット”Groovers”にて多くのCM、映画、テレビドラマ、ゲーム等の楽曲制作を手掛ける。近年では、「Too young to die!若くして死ぬ」「ナミヤ雑貨店の軌跡」等、映画中での演奏を担当する。</p>				
回数	授業形態	内容		
1	演習	授業説明 到達目標について 音名音階の説明		
2	演習	復習 音階の練習(メジャースケール)		
3	演習	スケールの練習 C～B(白鍵)コードの説明メジャー、マイナー		
4	演習	スケールの練習 コードの演習(トライアド)		
5	演習	スケールの練習 楽曲1を使って演奏の練習		
6	演習	スケールの練習 楽曲1を使って演奏の練習		
7	演習	スケールの練習 楽曲1を使って演奏の練習		
8	演習	スケールの練習 楽曲1を使って演奏の練習		
9	演習	スケールの練習(any key)		
10	演習	スケールの練習 セブンスコードの説明		
11	演習	スケールの練習 楽曲2を使って演奏の練習		
12	演習	スケールの練習 楽曲2を使って演奏の練習		
13	演習	スケールの練習 楽曲3を使って演奏の練習		
14	演習	スケールの練習 楽曲3を使って演奏の練習		
15	演習	実技テスト・振り返り		
準備学習 時間外学習	なるべく自宅、学校等で鍵盤に触れて下さい！			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技試験40% 筆記試験40% 課題20%		
教材	教科書			
	参考書	指定する楽譜等		
学生への メッセージ	基本的なキーボードの考え方、奏法を身に付けて自分の音楽や曲作りに役立てて下さい。			

商業音楽科昼間 I 部 シラバス

科目名	制作(進級制作)		担当教員名	水島 秀樹
時間数	120	必修・選択	配当年次	1年次
曜日・時限		必修	教室	LS1
授業の到達目標	コンサート、ライブ、イベント全般通じてアーティスト、ゲストが楽しめる空間の構築。 ノークレームを目指す			
授業の内容	イベントコンセプトの共有等ミーティングから、制作についての実務を行い、当日までのスケジュールを作成する。コンセプト、テーマを理解し、クライアントの要望に応えられる内容を制作し、他学科の学生と共有していく。			
【実務経験】1990年大阪スクールオブミュージック専門学校卒業。その後東宝芸能と契約、各テーマパーク等でダンサーとして活動、バンドとしても活動を行い1998年CDデビュー。2001年より東京スクールオブミュージックにてヴォーカルコース、企画コースを担当。				
	日程	授業形態	内容	
1	1回	演習	コンセプトミーティング	
2	2回	演習	各演目リーダー顔合わせ	
3	3回	演習	第1回テクニカル、運営ミーティング	
4	4回	演習	リハーサル見学&各演目とのコンセプトミーティング	
5	5回	演習	テクニカルリハーサル	
6	6回	演習	第2回テクニカル、運営ミーティング	
7	7回	演習	クオリティチェックサポート	
8	8回	演習	演出ミーティング	
9	9回	演習	演出ミーティング & テクニカルミーティング	
10	10回	演習	全体リハーサル	
11	11回	演習	最終テクニカル、運営ミーティング	
12	12回	演習	全体リハーサル	
13	13回	演習	現場全体リハーサル	
14	14回	演習	本番	
15	15回	演習	振り返り	
準備学習 時間外学習	多くのアーティストのライブ映像をみておく			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技課題100%		
教材	教科書			
	参考書			
学生への メッセージ	1年間頑張った成果をたくさんの方に見てもらい、出演者からたくさんの「ありがとう」をもらいましょう！ そして来年、更なるレベルアップをしていきましょう！			